



2016年4月期 第2四半期

決算説明会

2015年12月10日

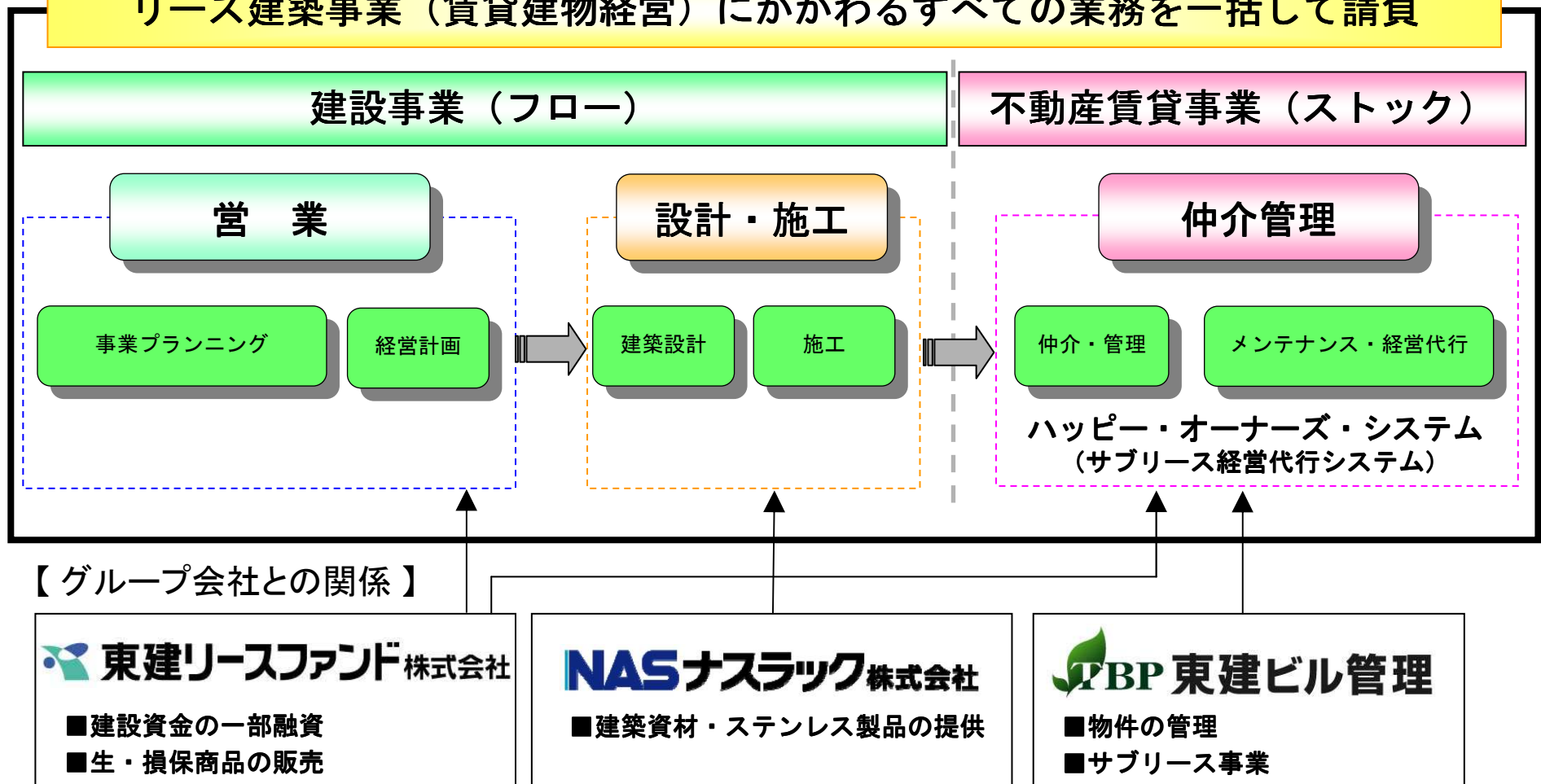
 東建コーポレーション株式会社

1. 当社ビジネスモデル

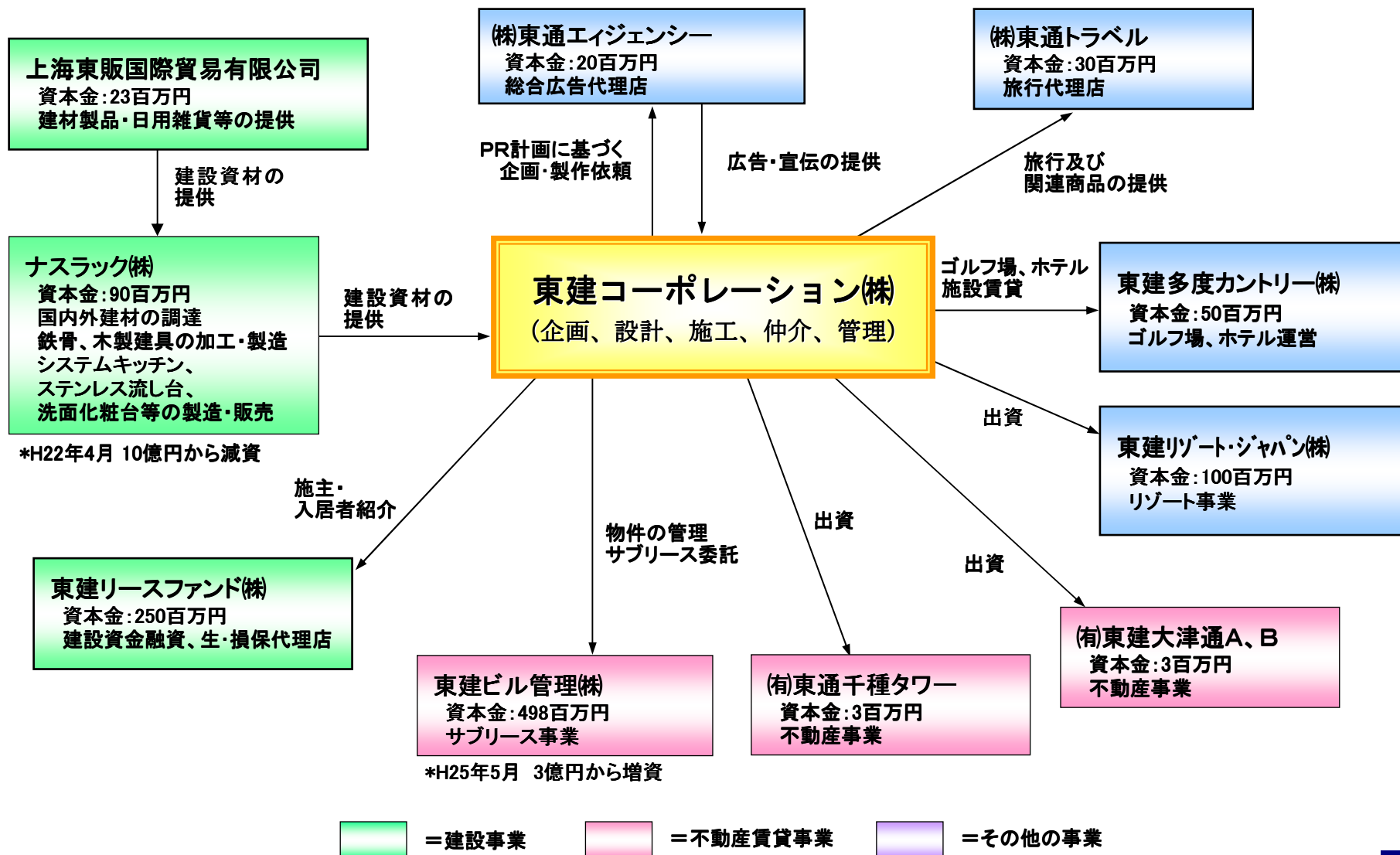
TOKEN CORPORATION

リース建築事業（賃貸建物経営）におけるトータルサポートシステムが、顧客（特に施主様）を満足させ、会社の安定成長に寄与します。

リース建築事業（賃貸建物経営）にかかわるすべての業務を一括して請負



2. 連結グループ会社の概況





I . 第2四半期累計 決算説明

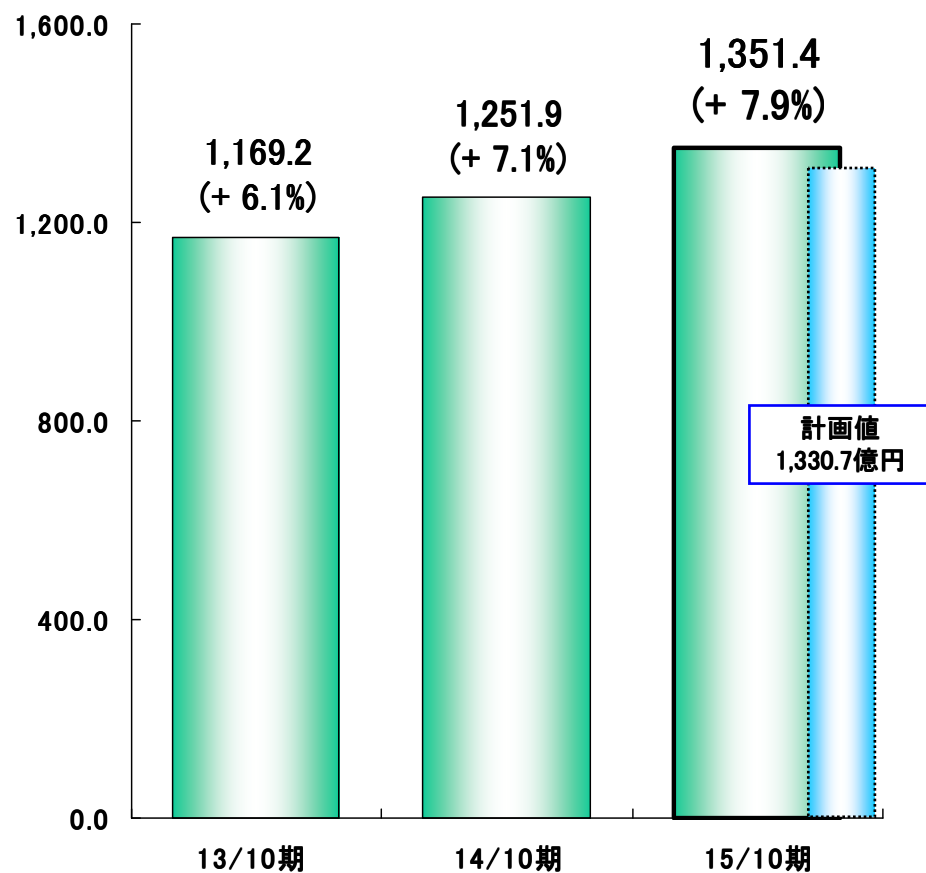
1. 連結損益計算書

TOKEN CORPORATION

(決算資料P1-4)

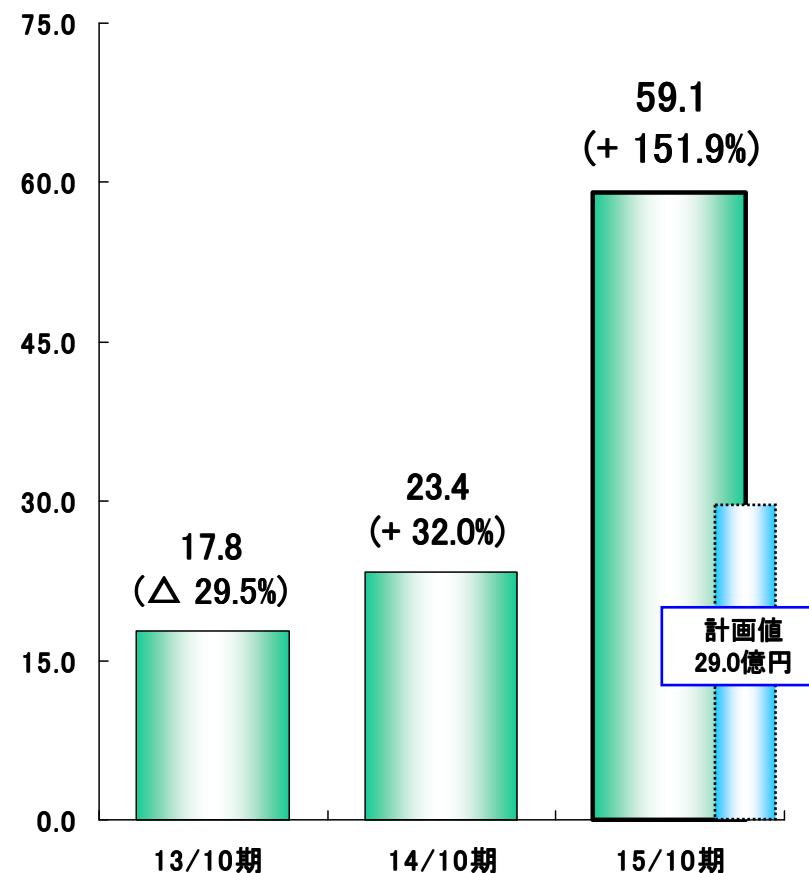
売上高

(単位:億円)



営業利益

(単位:億円)



○売上高: 5期連続の増収。進行基準売上高の増により計画値を上回る。

○営業利益: 売上高の増加により営業利益は前年同期と比較して増加。人件費が予算を下回り営業利益は計画値も上回る。

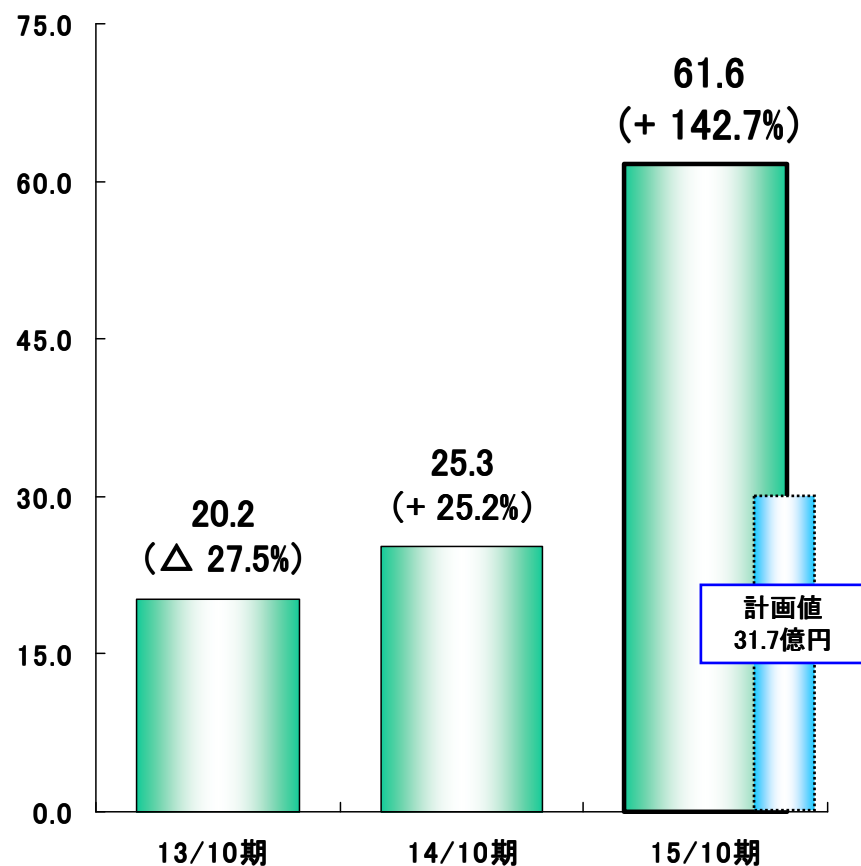
1. 連結損益計算書

TOKEN CORPORATION

(決算資料P1-4)

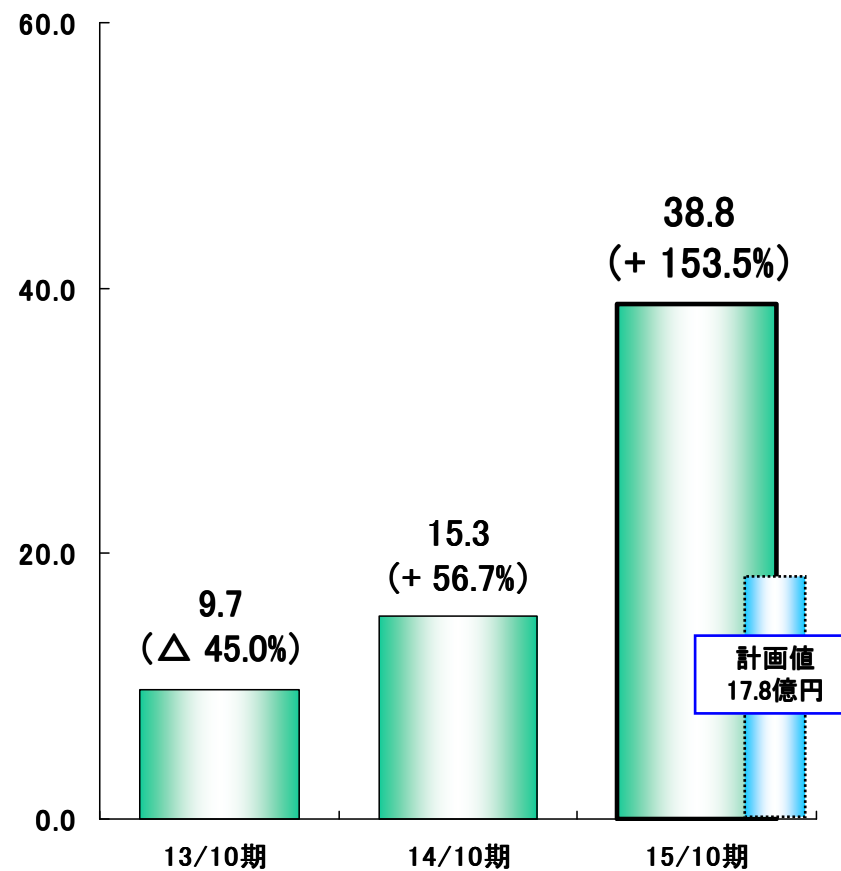
経常利益

(単位:億円)



親会社株主に帰属する 四半期純利益

(単位:億円)



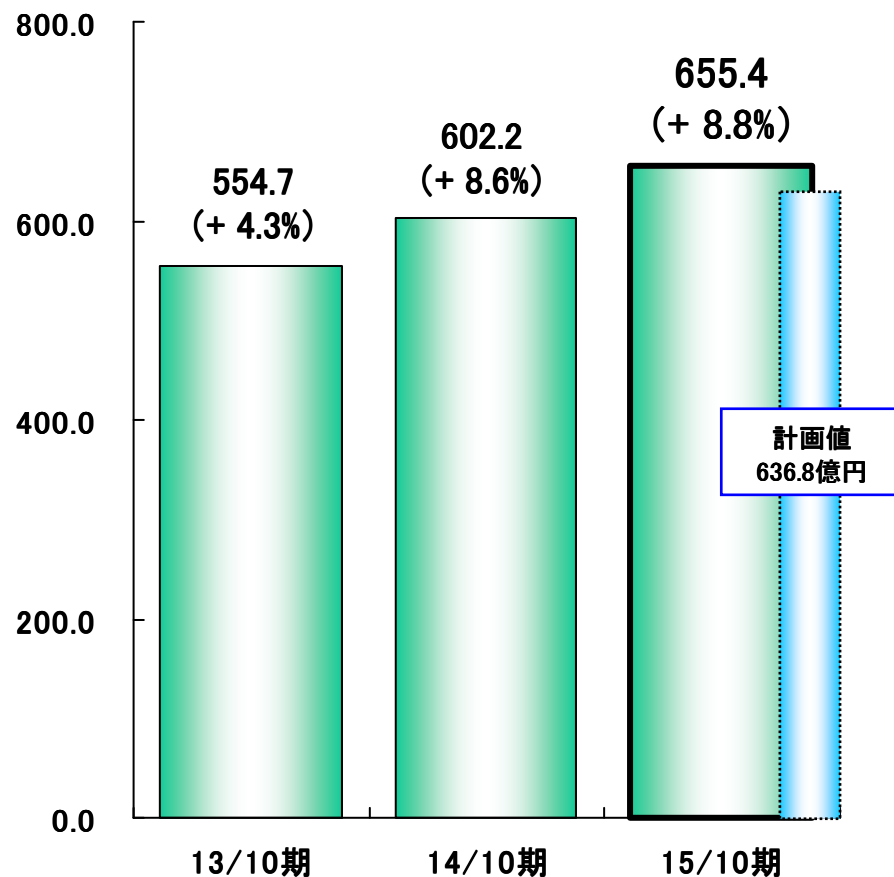
2. 連結売上高 ～完成工事～

TOKEN CORPORATION

(決算資料P1-4)

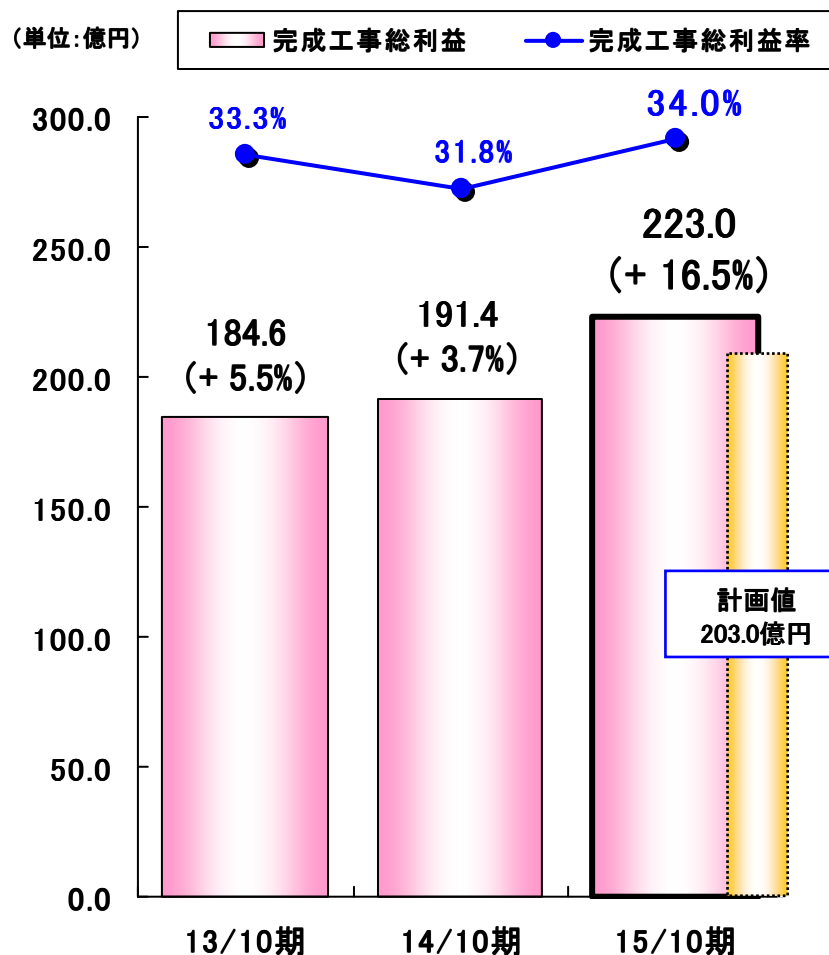
完成工事高

(単位:億円)



完成工事総利益

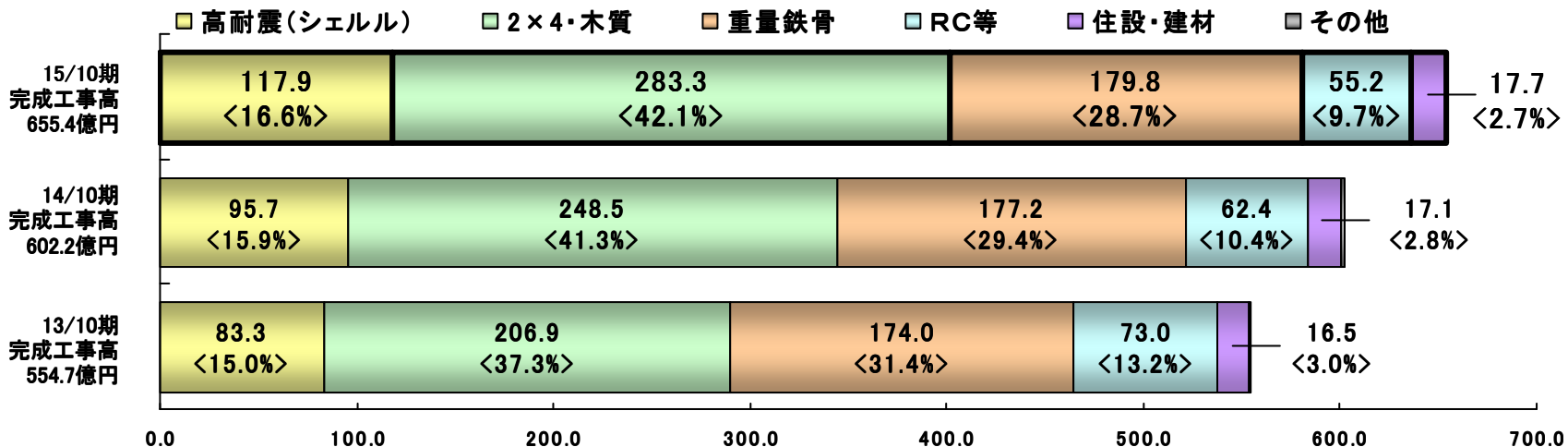
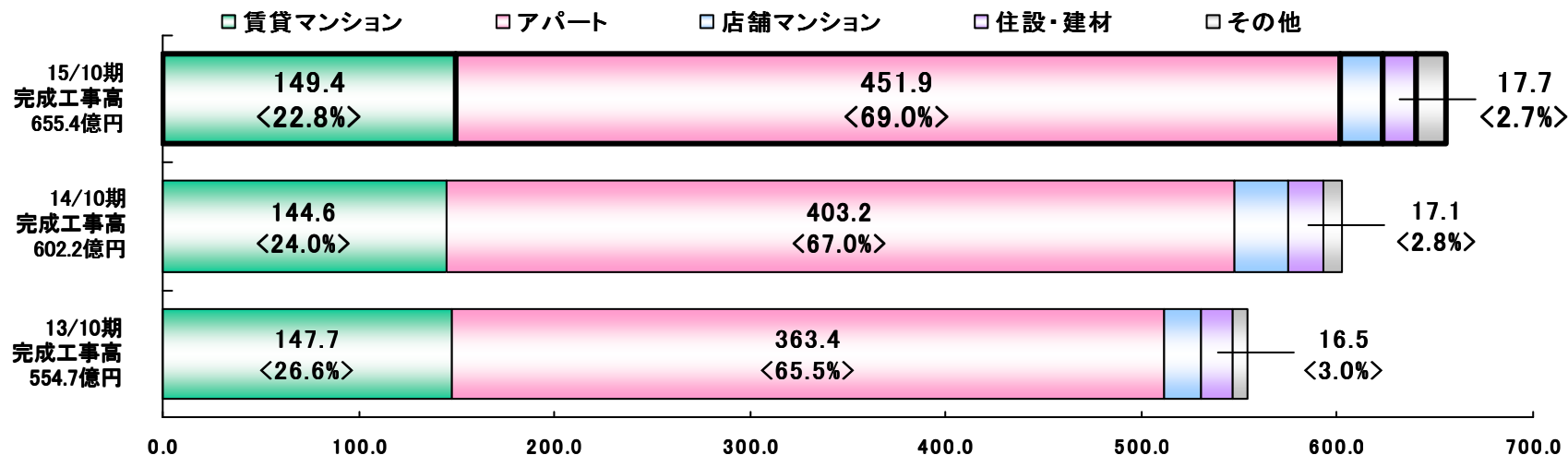
(単位:億円)



○完成工事高：受注残物件の着工率の向上と受注物件の早期着工により前年同期及び計画値を上回る結果となった。

○完成工事総利益：資材価格の高止まり、コストダウン施策の奏功により利益率は上昇。総利益額は計画値も上回る。

3. 完成工事高 ～売上内訳～



(単位: 億円)

○アパートの比率の増などによりシェルル及び木質系が増加。

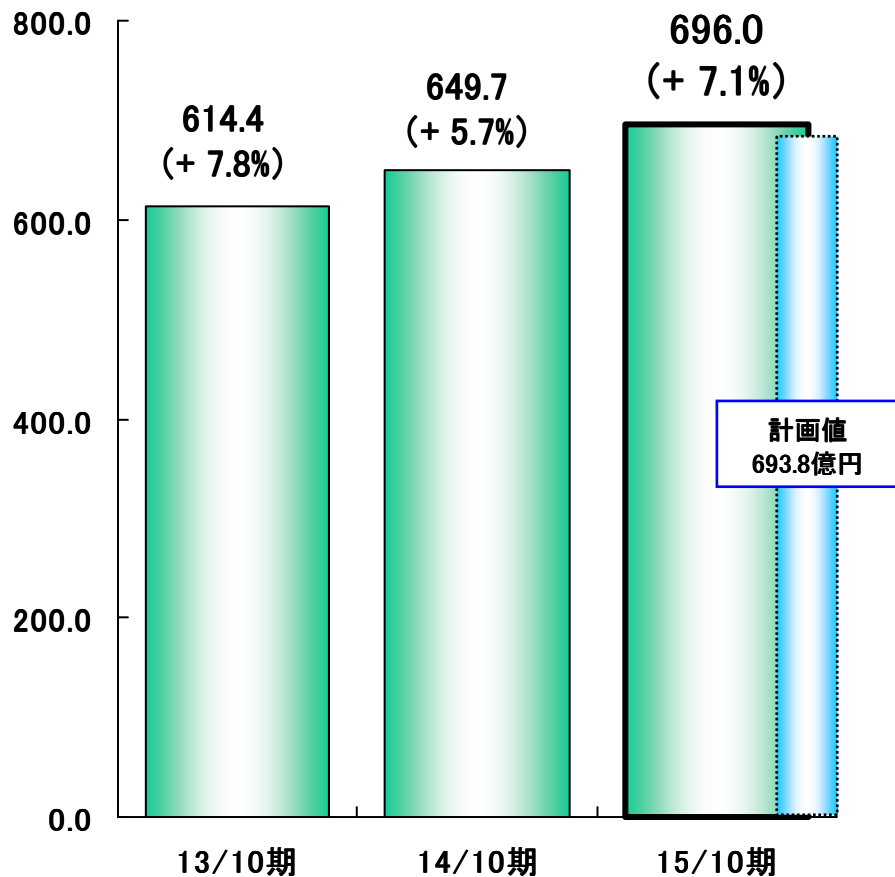
* < > 内の数値は構成比を表しております。

4. 連結売上高 ～兼業事業～

(決算資料P1・4)

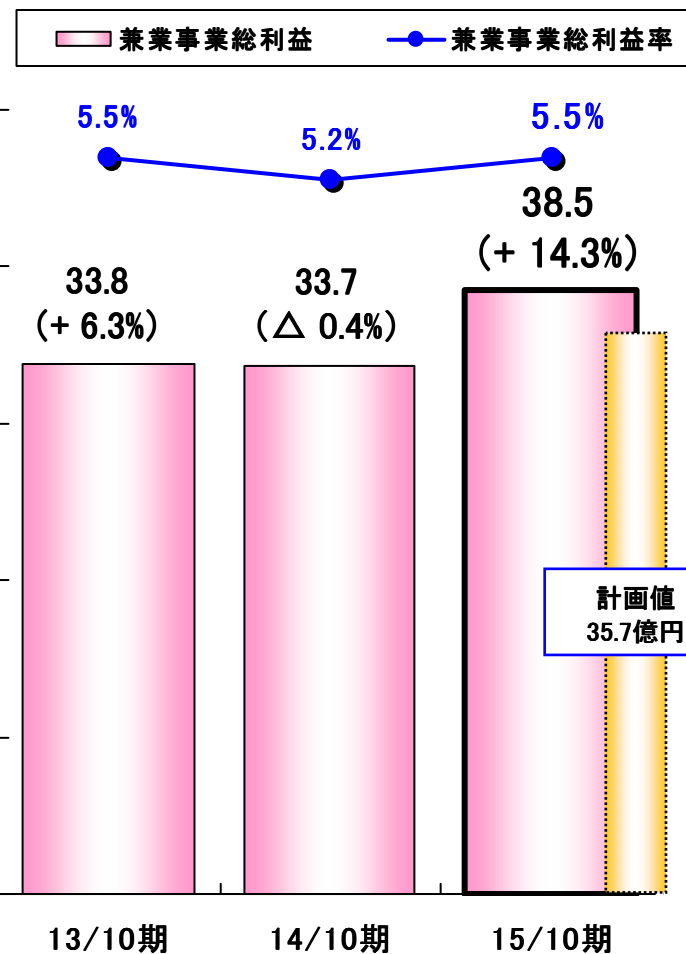
兼業事業売上高

(単位:億円)



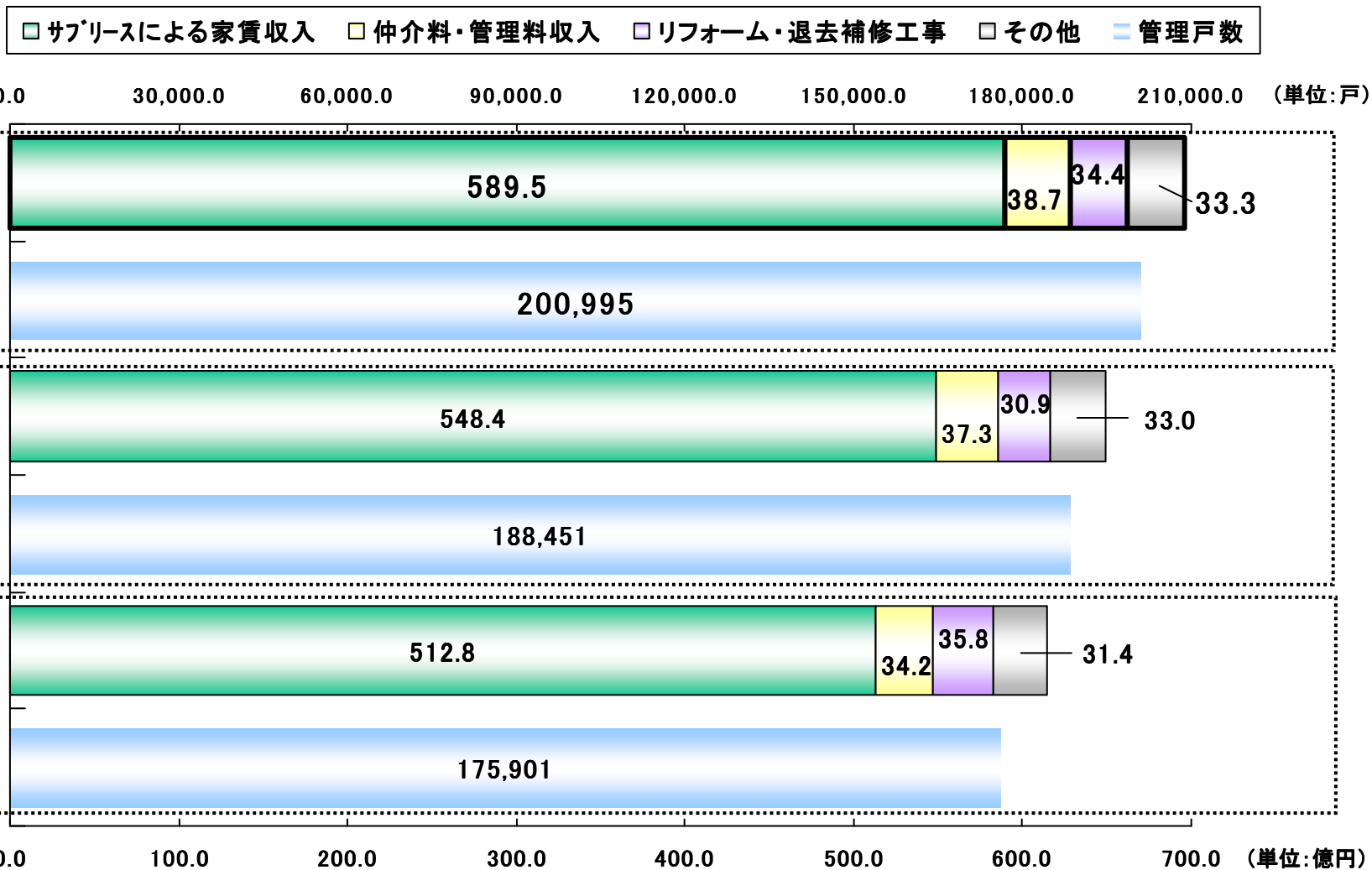
兼業事業総利益

(単位:億円)



- 兼業事業売上高：不動産事業の受取家賃収入の増加により売上高は前年同期を上回る。
- 兼業事業総利益：入居率の上昇により利益率が改善。

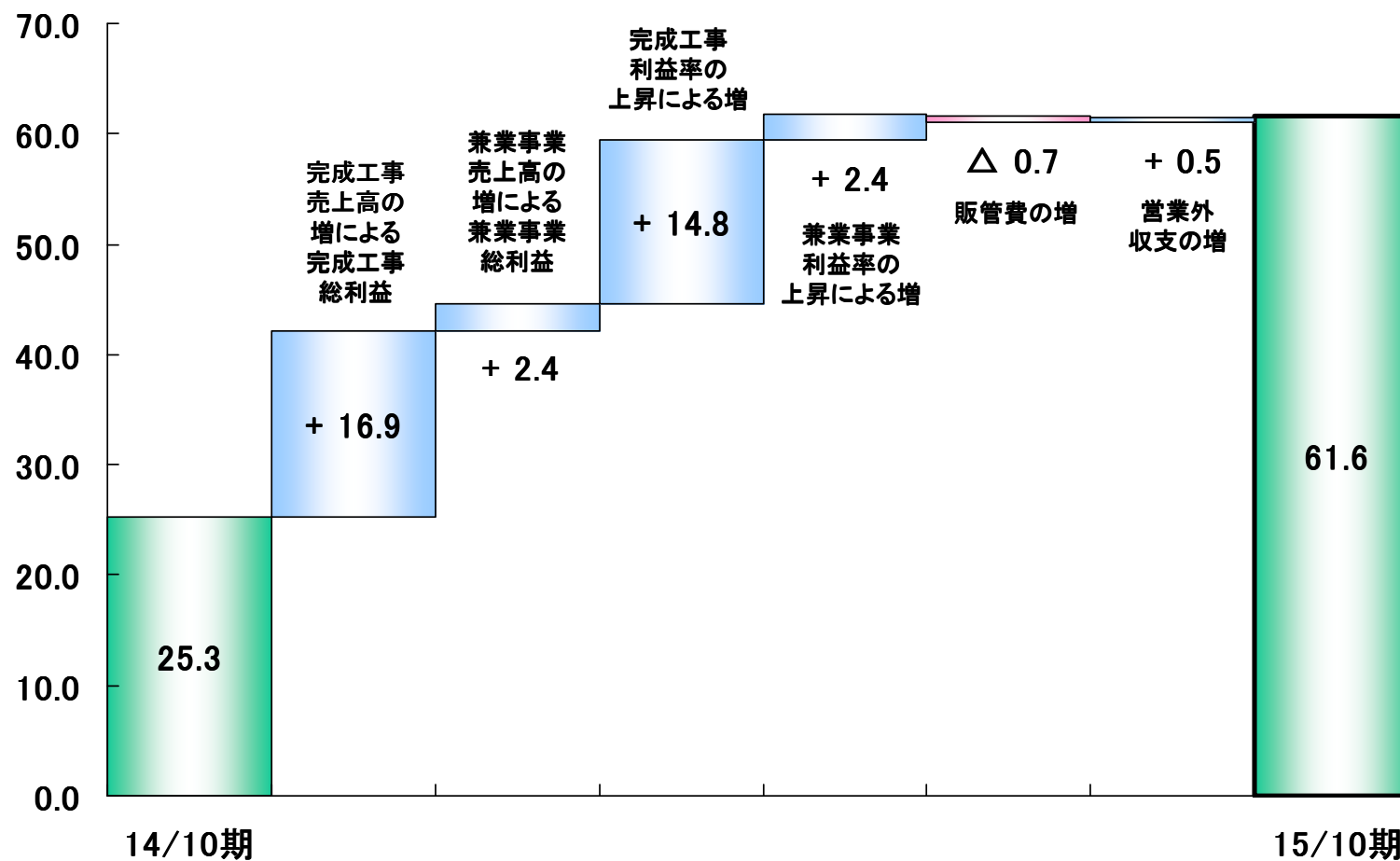
5. 兼業事業売上高 ～売上内訳～



○管理物件数の増加に伴い家賃収入及び管理料収入が増加。

6. 経常利益増減要因

(単位: 億円)



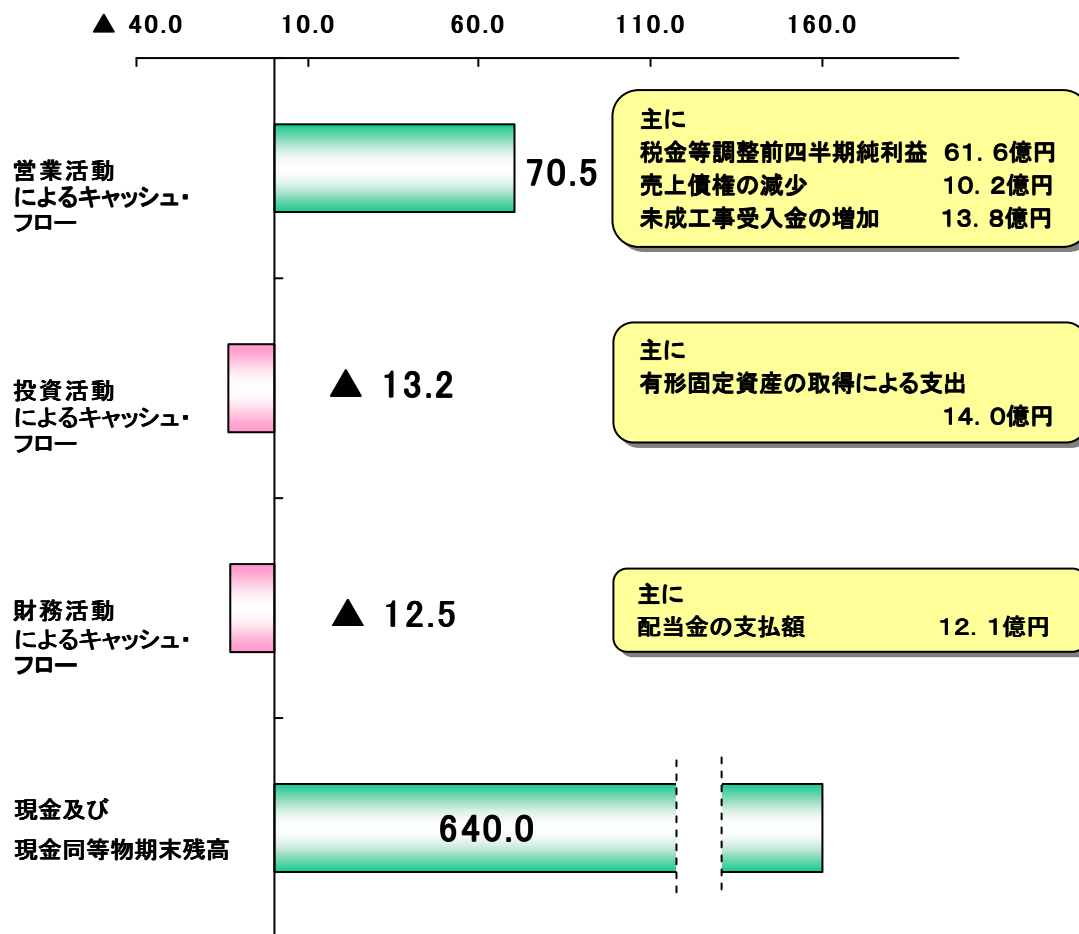
○建設事業、兼業事業ともに売上高及び利益率が前年増となり経常利益は増益。

7. CF・設備投資

(決算資料P5)

連結キャッシュ・フロー

(単位:億円)



設備投資

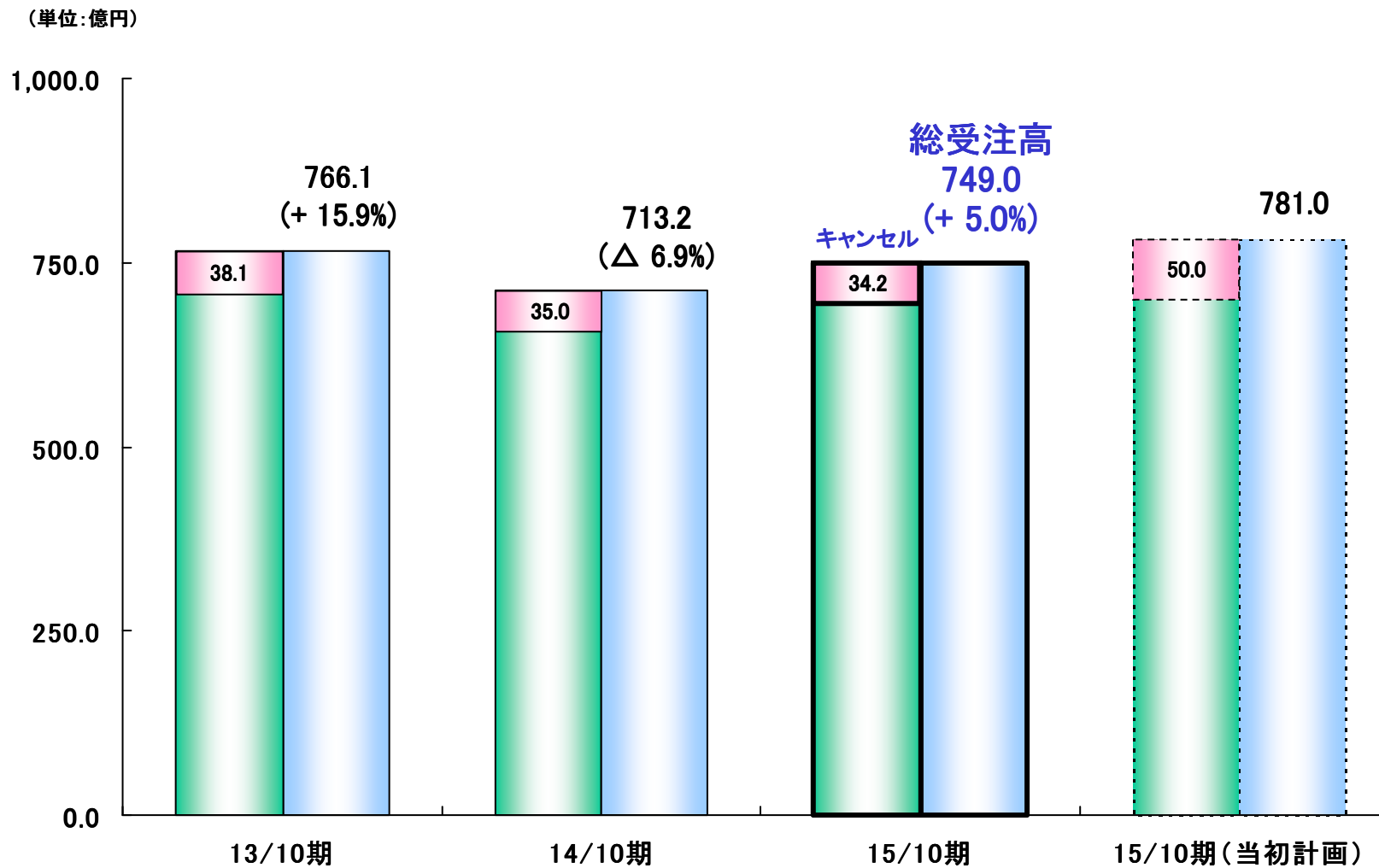
(単位:百万円)

	14/10期	15/10期
設備投資額	999	1,654
減価償却額	715	684

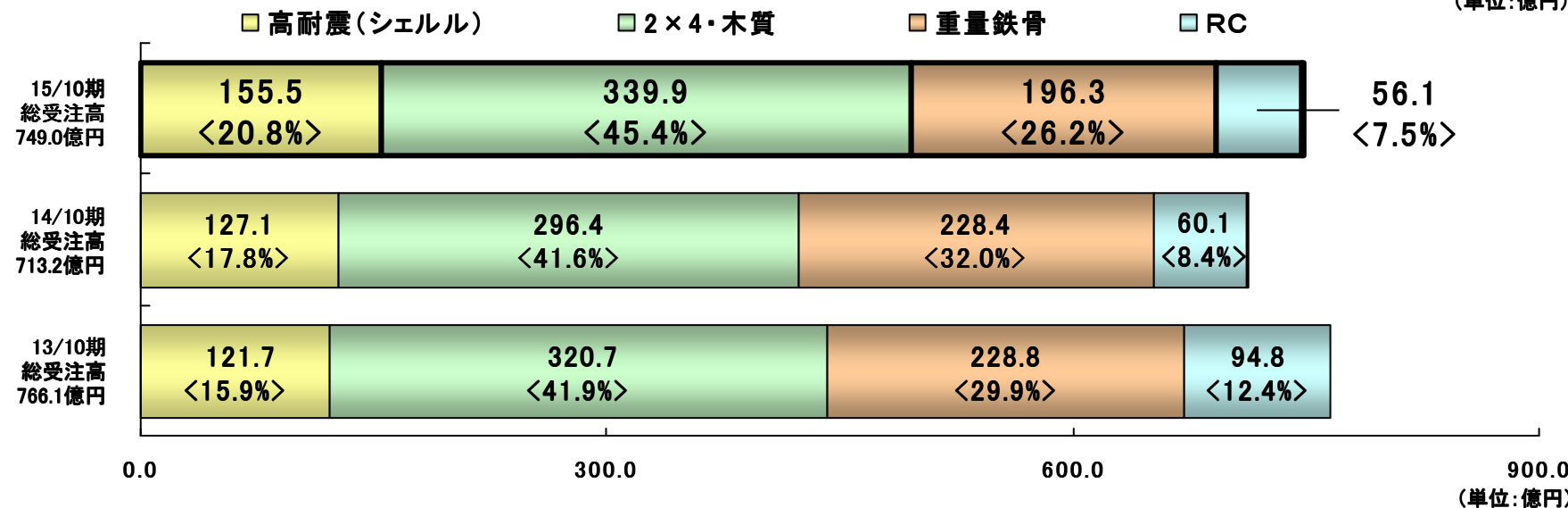
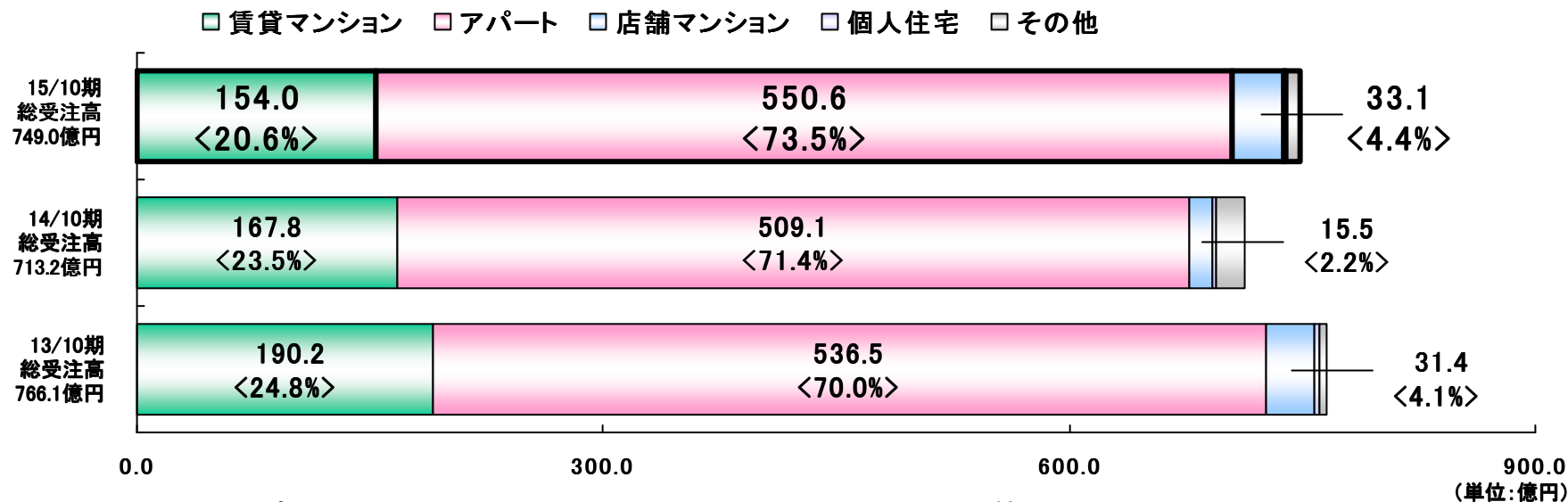
- 14/10期: ナスラック工場 建屋建替 4億円
- 15/10期: リゾート宿泊施設 14.1億円

8. 受注高 (単体)

(決算資料P9・13)



9. 種類別 受注高 (第2Q累計: 単体)

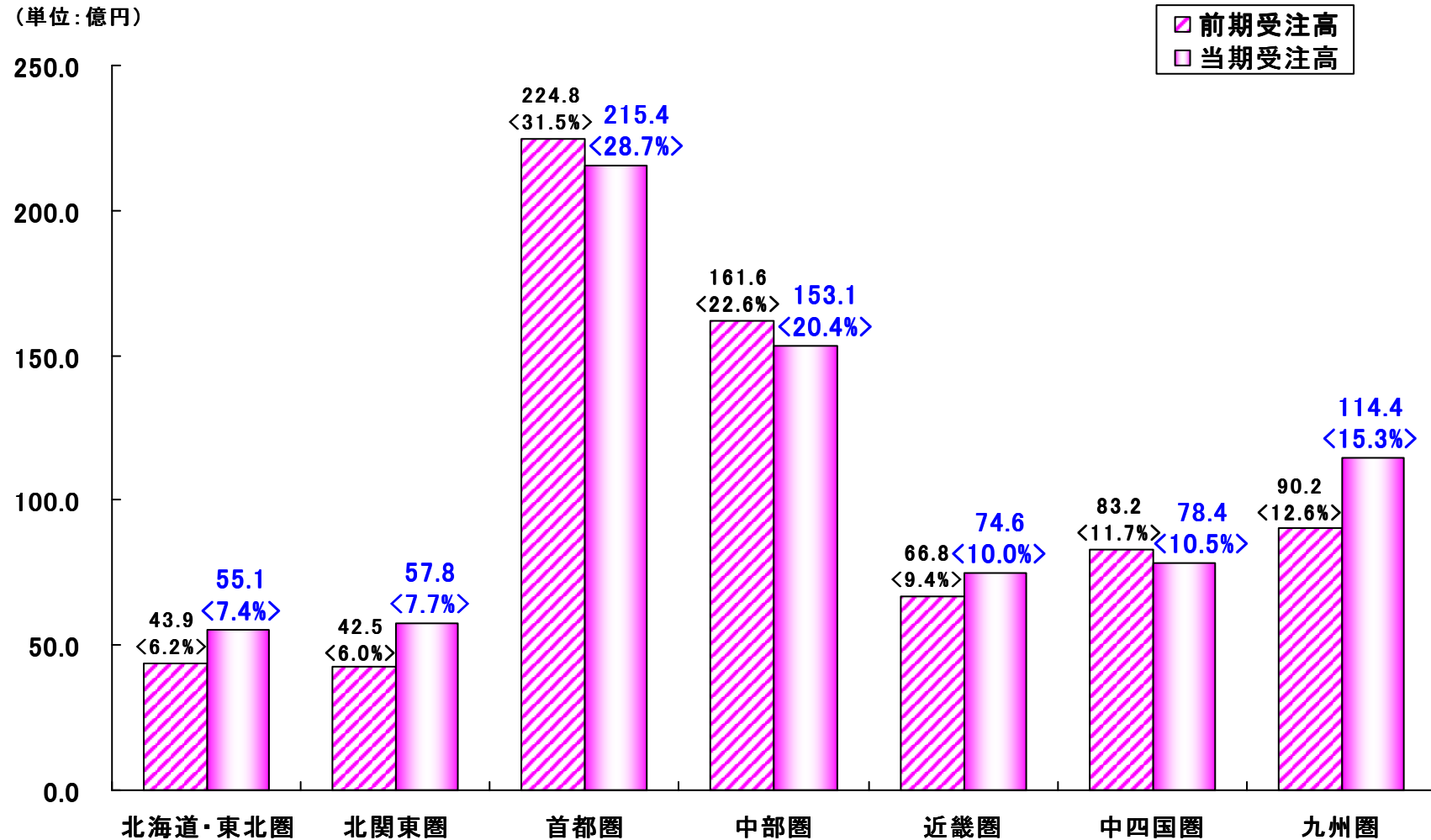


* < > 内の数値は構成比を表しております。

10. 地域別 受注高 (第2Q累計: 単体)

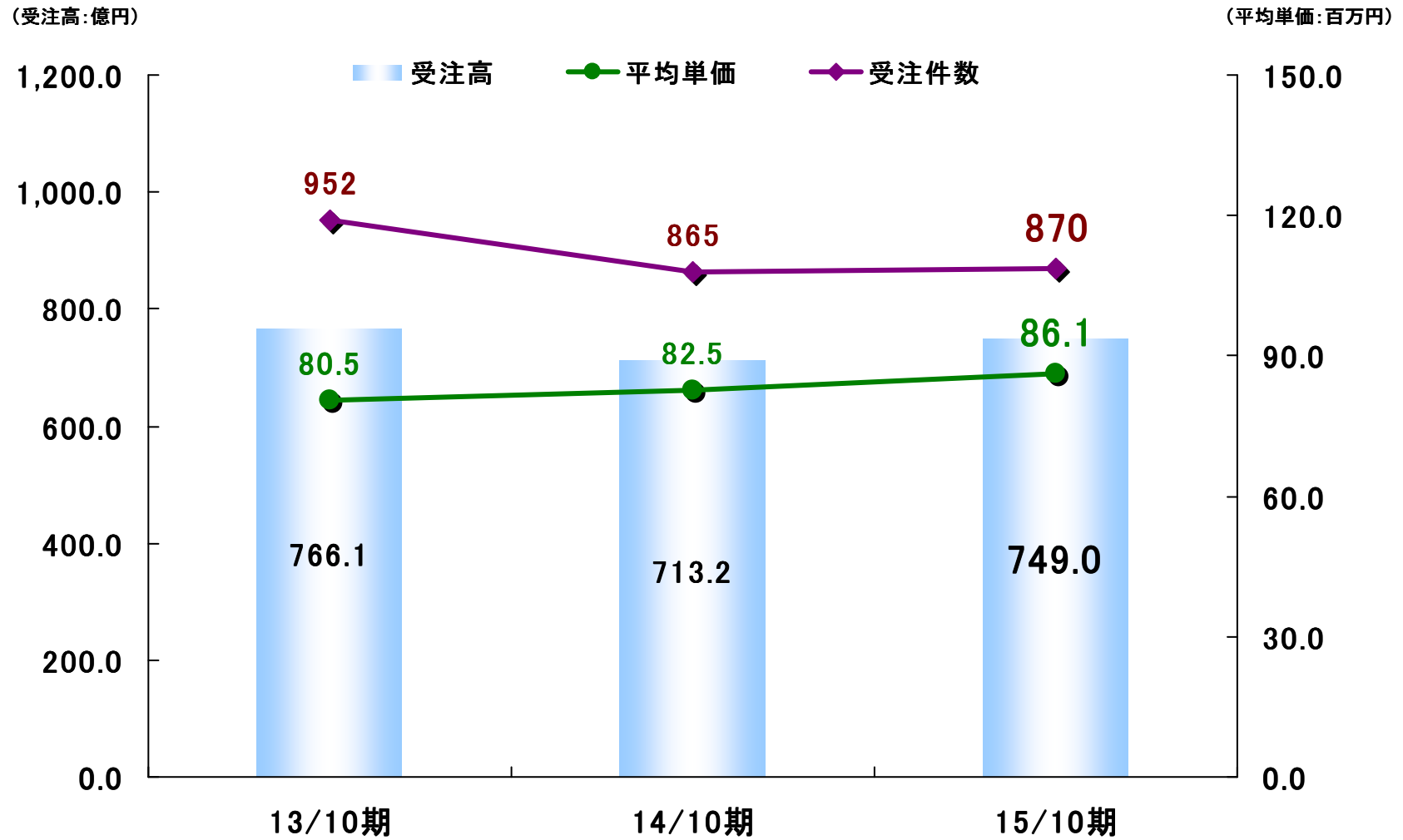
(決算資料 P13)

(単位: 億円)

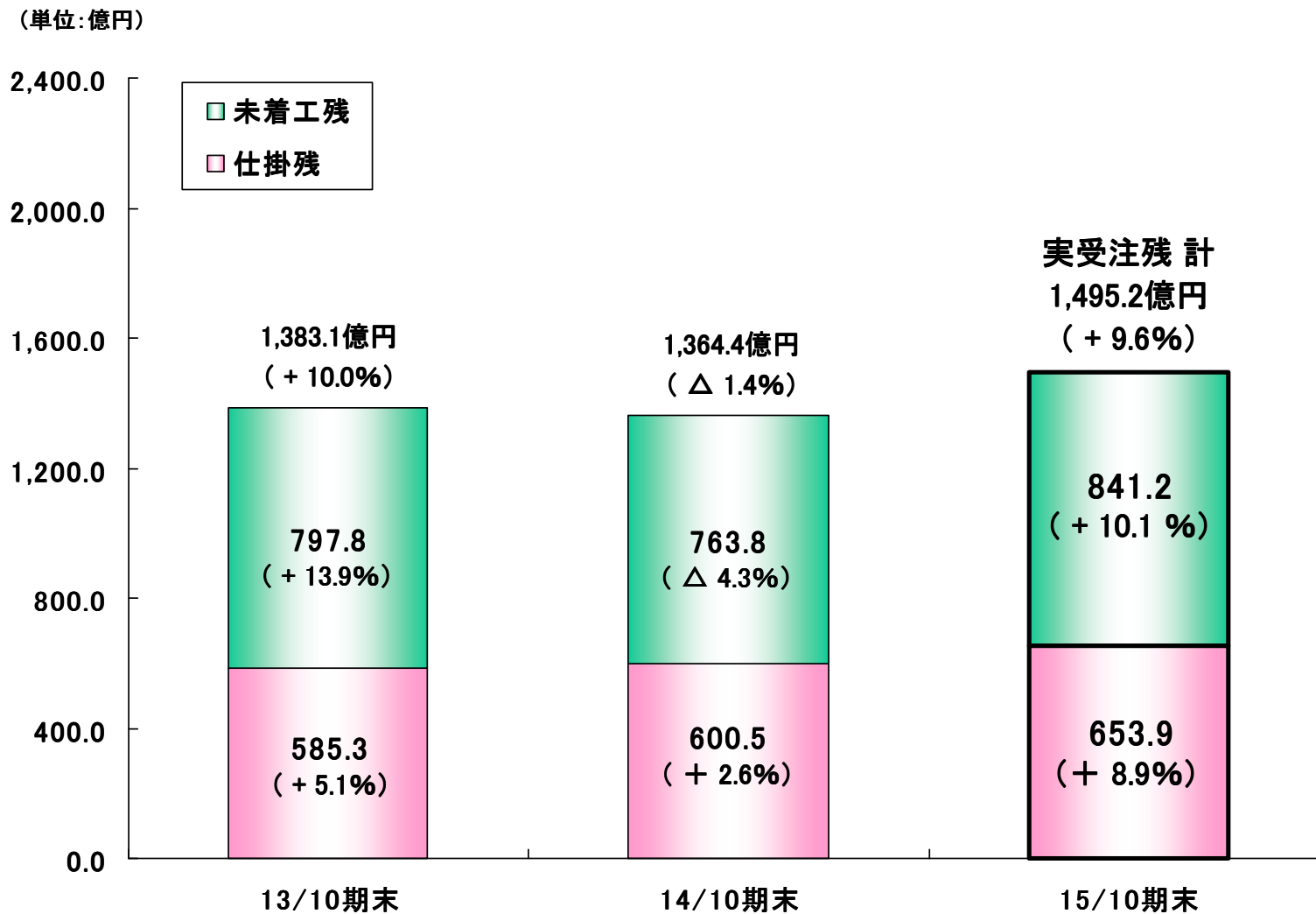


*上記は総受注高を表しております。
* < >内は構成比を表しております。

11. 受注単価の推移（単体）



12. 受注残の状況（単体）



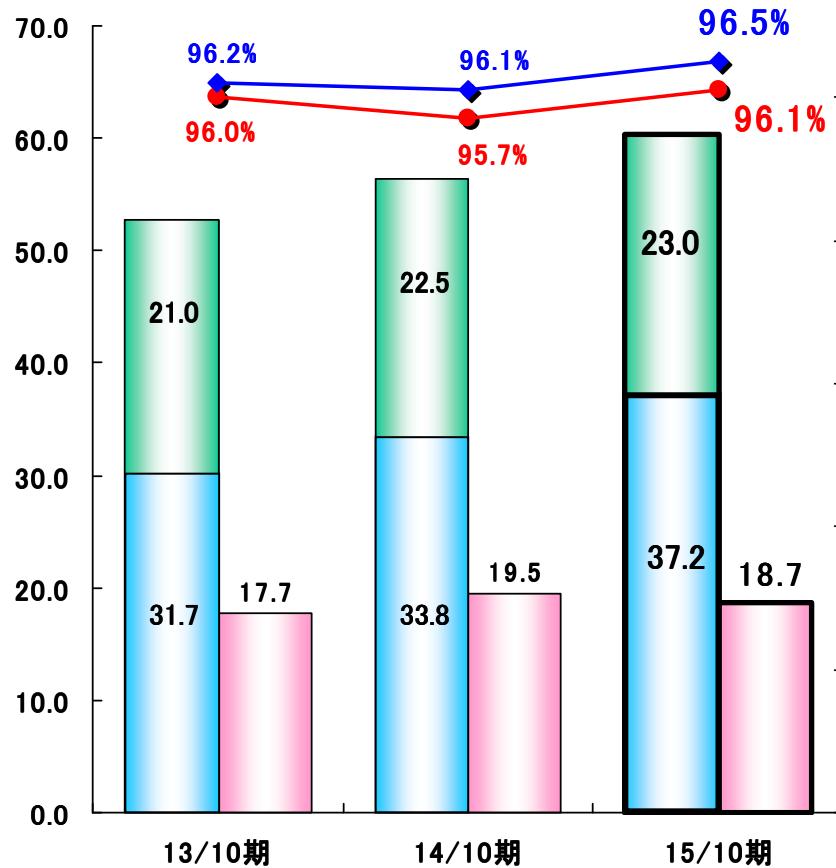
*上記数値は実受注残高を表しております。
*()内は前年同期比を表しております。

13. サブリースの状況

(決算資料 P15)

■ 管理料収入 ■ 空室等支払家賃額 ■ 空室等支払家賃原資
● 期末入居率 ◆ 平均入居率

(単位:億円)



(単位:億円)

	13/10期	14/10期	15/10期
管理料収入	21.0	22.5	23.0
空室等支払家賃原資	31.7	33.8	37.2
空室等支払家賃額	17.7	19.5	18.7
支払率	55.9%	57.9%	50.4%

- 管理物件の増加により原資及び管理料収入が増加。
- 平均入居率が上昇したことにより空室等支払家賃が減少し収支は改善。



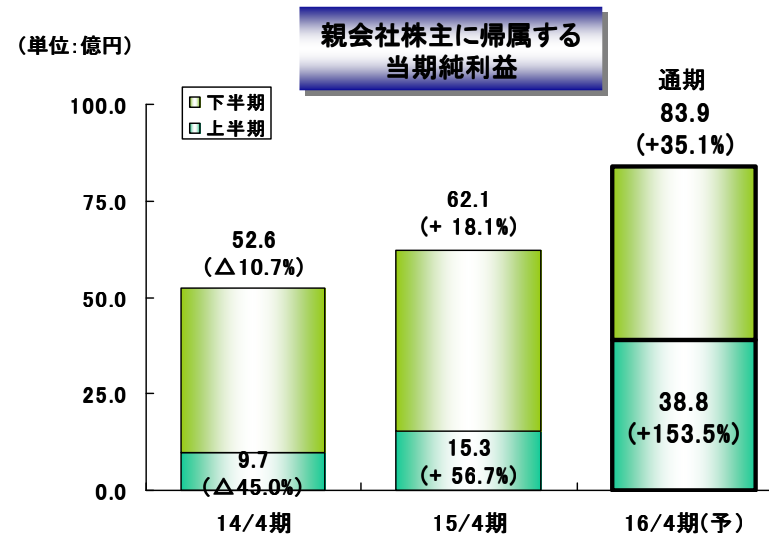
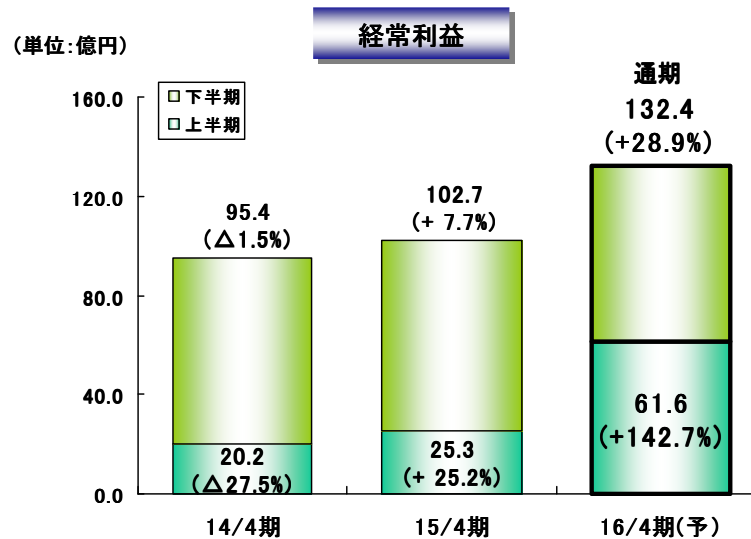
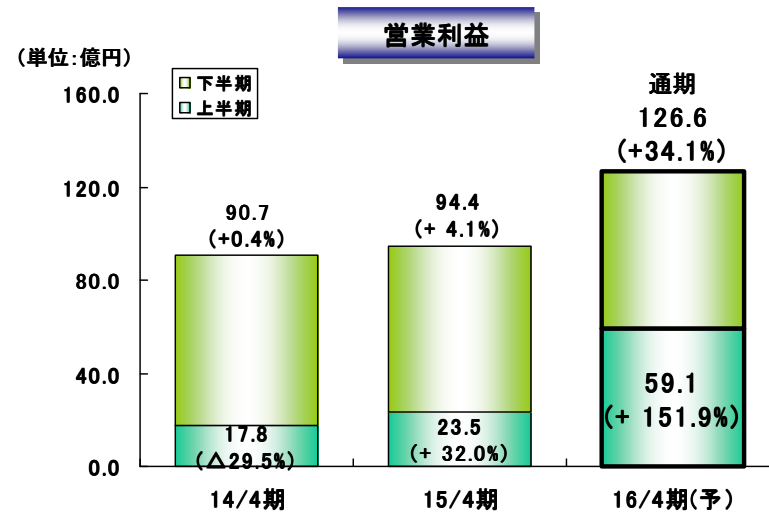
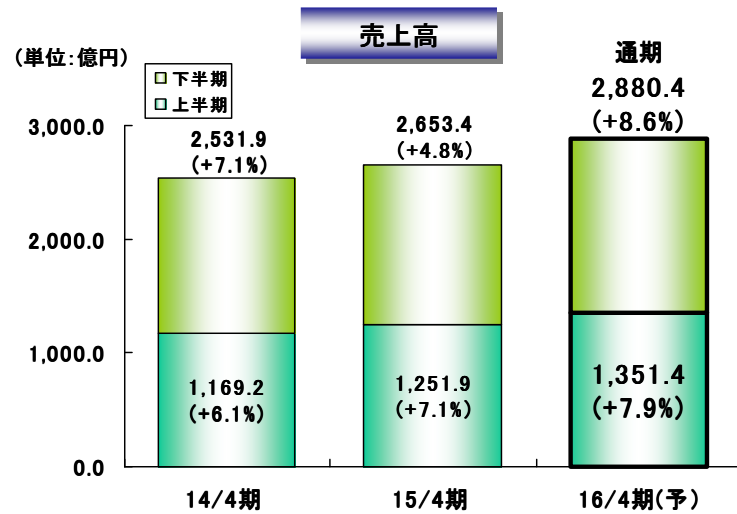
Ⅱ. 通期見通し

14. 2016年4月期 ～連結損益計算書～

TOKEN CORPORATION

(決算資料P1-7)

5期連続の増収を見込む



15. 受注高の見通し（単体）

(決算資料P9・16)

